|  |
| --- |
| 富士ソフト 株式会社 |
| 音声ファイル削除バッチ |
| AIボイスアナリティクスサービス |
| 第2.01版 |
|  |
| **2018/06/05** |

改版履歴

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 年月日 | 改定箇所 | 改定内容 | 担当 |
| 1.0 | 2018/04/04 | 全般 | 新規作成 | FSI |
| 1.1 | 2018/05/29 | 全般 | 赤文字、青文字を黒に変更 | FSI |
| 2.0 | 2018/06/05 | 全般 | Phase4改訂 | FSI |
| 2.01 | 2018/06/05 | 全般 | 音声解析ログ削除処理を追加 | FSI |

目次

[1. 音声ファイル削除処理 3](#_Toc516065079)

[1.1. 処理概要 3](#_Toc516065080)

[1.2. 処理詳細 3](#_Toc516065081)

[1.2.1. 音声解析ログ削除処理 3](#_Toc516065082)

[1.2.2. 音声ファイル削除処理 4](#_Toc516065083)

[1.3. DBアクセス 5](#_Toc516065084)

[1.3.1. 検索 5](#_Toc516065085)

[1.3.2. 更新 7](#_Toc516065086)

[1.3.3. 削除 8](#_Toc516065087)

# 音声ファイル削除処理

## 処理概要

本処理は毎日1回午前2時(仮)に実行し、音声解析履歴管理画面から論理削除した音声解析ログテーブル、音声解析ログ詳細テーブルについて、保存期間が過ぎたレコードを物理削除する。保存期限は企業毎に定義でき、論理削除日時から起算して保存日数を経過したレコードを削除対象とする。削除されたレコードに紐づく音声ファイルも同時に削除する。

また、保存期限の過ぎた音声解析ログ音声ファイルだけの削除を行う。音声ファイルの保存期限は企業毎に定義でき、音声解析ログの音声解析開始日時から起算して保存日数を経過したファイルを削除対象とする。

論理削除ログ保存日数、音声ファイル保存日数は同一企業でも別に設定できる。音声ファイル保存期間超過日が先になる場合は音声ファイルだけの削除となる。論理削除保存期間超過日が先になる場合には、音声ファイル、テーブルを削除するため、後の音声ファイル保存期間超過日には処理は行われない。

音声ファイル削除バッチ実行時、先に音声解析ログ物理削除処理（1.2.1音声解析ログ削除処理　参照）を行い、その後に音声ファイル削除処理（1.2.2音声ファイル削除処理　参照）を行う。

## 処理詳細

### 音声解析ログ削除処理

1. 削除対象となる音声解析ログを取得する（表 1‑1　削除対象音声解析ログ検索　参照）。
2. 削除対象となる音声解析ログが無い場合は処理を終了する。
3. 1.で取得した音声解析ログの件数分、以下の処理を繰り返す。エラーが発生した場合は、ログにエラー内容を出力し、次の音声解析ログの処理を行う。
   1. 音声解析ログに紐付く音声ファイルのある音声解析ログ詳細を取得する（表2‑2　音声解析ログ詳細検索　参照）。
   2. 音声解析ログ詳細の件数分以下の処理を繰り返す。
      1. 音声解析ログ詳細に該当する音声ファイルを削除する
      2. 音声解析ログ詳細を削除する（表 1‑5　音声解析詳細ログ削除　参照）。
      3. コミットする
   3. 音声解析ログに該当する音声ファイル保存ディレクトリを削除する
   4. 音声解析ログに紐付く音声ファイルの無い音声解析ログ詳細のレコードを物理削除する（表 1‑6　音声解析詳細ログ一括削除　参照）。
   5. 音声解析ログのレコードを物理削除する（表 1‑7　音声解析ログ削除　参照）。

### 音声ファイル削除処理

1. 音声ファイル削除対象となる音声解析ログを取得する（表 1‑2　音声ファイル削除対象音声解析ログ検索　参照）。
2. 音声ファイル削除対象となる音声解析ログが無い場合は処理を終了する。
3. 1.で取得した音声解析ログの件数分以下の処理を繰り返す。エラーが発生した場合は、ログにエラー内容を出力し、次の音声解析ログの処理を行う。
   1. 音声解析ログに紐付く音声ファイルのある音声解析ログ詳細を取得する（表2‑2　音声解析ログ詳細検索　参照）。
   2. 音声解析ログ詳細の件数分以下の処理を繰り返す。
      1. 音声有無フラグを更新する（表 1‑4　音声有無フラグ更新　参照）
      2. 音声解析ログ詳細に該当する音声ファイルを削除する
      3. コミットする
   3. 音声解析ログに該当する音声ファイル保存ディレクトリを削除する

## DBアクセス

### 検索

表 1‑1　削除対象音声解析ログ検索

|  |  |
| --- | --- |
| テーブル名 | 取得項目 |
| 音声解析ログ | 音声解析ログID |
| **取得クエリ** | |
| SELECT  音声解析ログID  FROM  音声解析ログ, 企業管理  WHERE  音声解析ログ．企業ID ＝ 企業管理．企業ID AND  音声解析ログ．論理削除日時 IS NOT NULL AND  DATEDIFF（現在日時, 音声解析ログ．論理削除日時） >= IFNULL(企業管理．論理削除保存日数, 論理削除保存日数デフォルト値) | |

※論理削除保存日数デフォルト値はアプリケーションの設定ファイルに定義する

表 1‑2　音声ファイル削除対象音声解析ログ検索

|  |  |
| --- | --- |
| テーブル名 | 取得項目 |
| 音声解析ログ | 音声解析ログID |
| **取得クエリ** | |
| SELECT  音声解析ログID  FROM  音声解析ログ, 企業管理  WHERE  音声解析ログ．企業ID ＝ 企業管理．企業ID AND  音声解析ログ．音声解析ログID IN （  SELECT 音声解析ログID FROM 音声解析ログ詳細 WHERE 音声有無フラグ = TRUE GROUP BY 音声解析ログID  ） AND  DATEDIFF（現在日時, 音声解析ログ．終了日時） >= IFNULL(企業管理．音声保存日数, 音声保存日数デフォルト値) | |

※音声保存日数デフォルト値はアプリケーションの設定ファイルに定義する

表 1‑3　音声解析ログ詳細検索

|  |  |
| --- | --- |
| テーブル名 | 取得項目 |
| 音声解析ログ詳細 | 全て |
| **取得クエリ** | |
| SELECT  \*  FROM  音声解析ログ詳細  WHERE  音声解析ログID = 音声ファイル削除対象音声解析ログ．音声解析ログID AND  音声有無フラグ ＝ TRUE | |

### 更新

表 1‑4　音声有無フラグ更新

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| テーブル名 | | | |
| 音声解析ログ詳細 | | | |
| **更新条件** | | | |
| 音声解析ログ詳細ID =音声ファイル削除対象音声解析ログ詳細．音声解析ログ詳細ID | | | |
| **設定値** | | | |
| **No** | **項目名** | **設定値** | **備考** |
|  | 開始秒数 | NULL |  |
|  | 終了秒数 | NULL |  |
|  | 音声有無フラグ | FALSE |  |

※画面側操作との競合(楽観ロックチェック)を回避するため更新日時、更新者ID、更新者名は更新しない

### 削除

表 1‑5　音声解析詳細ログ削除

|  |
| --- |
| テーブル名 |
| 音声解析詳細ログ |
| **削除条件** |
| 音声解析詳細ログID =　削除対象音声解析詳細ログ．音声解析詳細ログID |

表 1‑6　音声解析詳細ログ一括削除

|  |
| --- |
| テーブル名 |
| 音声解析詳細ログ |
| **削除条件** |
| 音声解析ログID =　削除対象音声解析ログ．音声解析ログID |

表 1‑7　音声解析ログ削除

|  |
| --- |
| テーブル名 |
| 音声解析ログ |
| **削除条件** |
| 音声解析ログID =　削除対象音声解析ログ．音声解析ログID |